

- 3 . 住宅情報化に関するユーザ実態・ニーズ調査

The Survey of User's current Status and Needs in Informatization of Houses

キーワード	住生活, ホームネットワーク, ブロードバンド, インターネット, 安全・安心な暮らし, 健康な暮らし
Key Word	Dwelling Life , Home Network , Broadband Service , Internet , Security / reliable living , healthy living

1. 調査実施概要

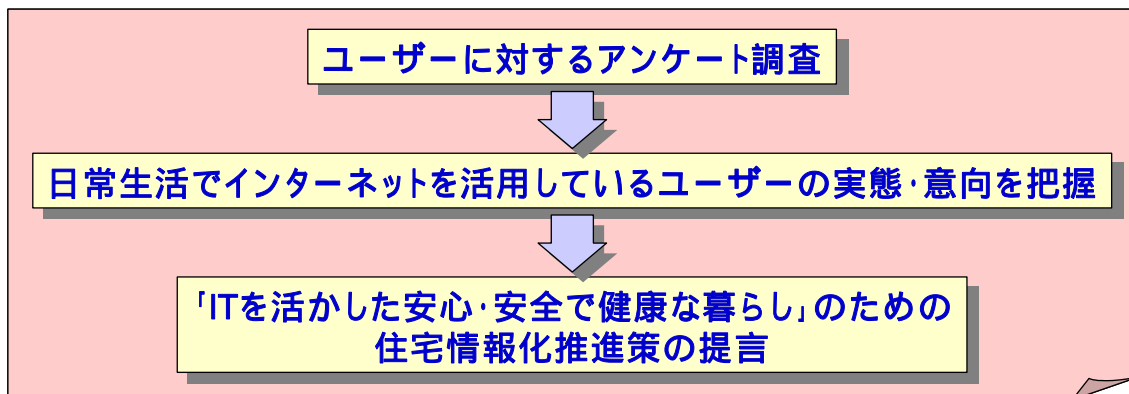
(1) 調査の背景と目的

「ITを活かした安心・安全で健康な暮らし」とはどのようなものか？
これを明確にするための基礎資料として、

- ITを活かした安心・安全で健康な暮らしに対する問題意識・課題
- ITを活かした安心・安全で健康な暮らしIT活用の可能性

に関するユーザの生の声を把握し、体系化.

具体的な実施



(2) 調査実施概要

調査方法: Web サイト上でのオンラインアンケート

調査対象: 20 歳以上の全国のインターネットユーザ

調査実施時期: 2007 年 10 月

回答数: 1,000 票 ([平成 17 年国勢調査] 年齢 5 歳階級別人口構成比に準じて、回答数を調整)

主な調査事項

・回答者の属性

性別, 年代, 職業, 家族数, 家族構成, 居住地, 居住形態, 間取り, 居住年数, 築年数

・住生活における関心事

・「安心・安全で健康な暮らしの実現」に向けた IT の利活用に関する調査項目

「安心・安全で健康な暮らしの実現」に向けた課題, 「安心・安全で健康な暮らし」に効果的な IT 利用

「安心・安全で健康な暮らし」における IT 利活用の障害事項

「安心・安全で健康な暮らしの実現」に向けた住まいの IT 化への要望

・住宅の情報通信環境と IT 利活用状況

インターネットアクセス回線, 通信回線接続機器数, 家庭内 LAN の構築状況, コンセント・ジャック等の設置状況, LP ガス等の集中監視システムの利用状況, 各種機器の保有状況およびネットワーク化対応状況, 情報通信機器・サービスの利用状況および利用目的

2. 調査研究成果概要

安心・安全な住生活での IT 利活用

< 情報通信サービスの阻害要因 >

サービス料金が低い

信頼できる業者か不安

プライバシーが保てるか不安

悪質なウィルスの氾濫・ネット犯罪

< IT 利活用の要望 >

データの信頼性の向上

地域・防犯サービスの充実

情報セキュリティの向上

サービス提供業者の信頼性判断の支援

住宅の IT 利用環境・IT 利活用

< IT 利用環境・IT 機器等の阻害要因 >

災害時に連絡手段が途絶える

配線等の不足による住宅内での利用制限

配線の煩雑化

機器・初期導入費用が高い

< IT 利活用の要望 >

強固なネットワークの確保

ケーブル等のシンプル化・複合化

バッテリー長時間化

節電に配慮した機器の普及

IT を活かした安心・安全で健康な住生活に向けた提言

安心・安全で健康な暮らしに向けたITサービスの活性化に向けて

安全・安心や健康に関するデータの信憑性の向上
インターネットで信頼できる業者か、ユーザが判断できる情報の提供
防犯や災害に備え、一人暮らし高齢者の見守り

実現にむけた仕組みを
創ることが重要

信頼できるかが重要な判断要素の一つ

取扱う情報はセンシティブな情報

< どのように管理するのか、ユーザの納得が必要 >
第三者機関による事業規模別にセキュリティレベルをランク付け
履歴情報を扱う人は、個人を特定できない仕組み